

こだま俳壇（六月句会）

面構なかなかのもの囀鮎	田中 一男
氷旗湾を見下ろす峠茶屋	友井 眞言
蛍のこと話したき人逝きにけり	松尾佐知子
モノクロの時代を想う氷水	白井保次郎
金魚鉢少し小さくなったかな	中野みどり
物置の幼き頃の金魚鉢	中村 桂子
舌の上氷苺の色怪し	大塚 敏高
団子屋や寅さん回すかき氷	瀧澤 正行
金魚屋のポイすいすいと十二匹	角田 英昭
金魚鉢目の合いしおり餌落とす	並木まり子
かき氷美し店屋は閉じたまま	後藤 貞夫
氷水静かな茶屋で遠く見る	小室 豊子
山道を登りつめてのかき氷	常世田芳子
錦木の花と名を当て風の婆	高橋 和江
母の日の送られて来し白スニーカー	島田多嘉子
ぼうぼうの校庭花壇夏休み	柳瀬 節子
父のこと少し自慢し氷水講師	太田土男先生